

— 春の宴・音楽浴 —

閑静な世田谷岡本のすばらしい日本庭園、“そめいよしの”を
愛でつつ、豊かで楽しいひと時を！

日本庭園付の素敵な洋館、大人の隠れ家、松本記念音楽迎賓館にて。

■日時：4月7日(土) 14:00~15:00 2階 Aホールにて、
ミハイル・カンディンスキーさんの珠玉のピアノ演奏をお聴きください

■ピアノ：ミハイル・ カンディンスキー



“高潔にして精神的、輝くばかりの妙技”／A. ネフスキー：2000 ロシア新聞

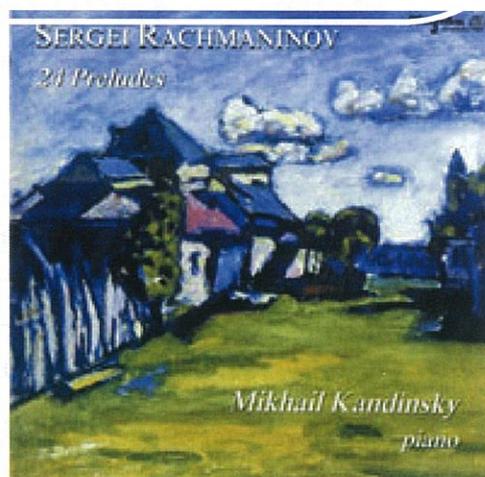
“若き日のホロヴィッツを思った一彼にも「何か」がある。”／吉田秀和氏 2002 朝日新聞

“やさしさと高貴な気品、詩的な瑞々しさ”／那須田務氏：2005 レコード芸術

1991 年グネーシン音楽学校在学中、ロシアオーケストラとプロコフィエフのピアノ協奏曲第 1 番を共演しデビュー。モスクワ音楽院に進み首席卒業。その後全額給費生として渡英、英国王立音楽院大学院修了。ウインゲート賞受賞。更にロシア・グネーシン記念音楽院大学院にて研鑽を積む。これまでに M. シャリコヴァ、E. ヴィルサラージェ、H. ミルン、W. トロップの各氏に師事。特にラフマニノフを中心とするロシア音楽では「多くの音楽家たちが今日聴くことのできる最高峰として受け止めるであろう」と本国ロシアから高く評価され、モスクワ・ラジオ放送録音の「ラフマニノフ 24 のプレリュード」は、今なおモスクワで放送されている。2000 年に初来日、ザ・フェニックスホール、日経ホール等にてリサイタル、ウィーン・フィルや N 響のメンバー、アナスタシアと共演。録音ではソロ・アルバムを 7 枚リリース、いずれも好評を得ている。現在、洗足学園音楽大学講師、ヴァンクール音楽院特別講師。大画家 W.カンディンスキーの子孫にあたる。

■プログラム(予定)：

- グリーク： 叙情小品集より
民族の旋律 蝶々 青春の日々から
- チャイコフスキー： 哀歌
- 平井康三郎： 幻想曲「桜さくら」
- グリンカ： アリャピエフのロマンス「鶯」による変奏曲
- リスト： 慰め第 3 番
- ラフマニノフ： プレリュード嬰ト短調 Op. 32-12 他



ミハイルさんのCD：ラフマニノフ：24のプレリュード



木とステンドグラスの
コンサート会場：
2階 A ホール